

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	四肢の軟部肉腫に対する重粒子線治療の治療効果及び毒性の検討
	研究目的	軟部肉腫は成人の悪性腫瘍のうち約 1%を占める比較的稀な腫瘍です。体のどの部位においても生じますが、約 60%は四肢に出現します。四肢の軟部肉腫に対し、手術と放射線治療の組み合わせが主な治療戦略であり、良好な成績が報告されています。しかしながら手術ができない場合や手術を希望されない場合においては、治療方法は限られています。一般に軟部肉腫は放射線治療に抵抗性で、放射線治療単独での治療効果は不十分です。重粒子線治療は高い線量集中性と、高い生物学的効果をもつため、軟部肉腫のような放射線抵抗性の腫瘍に対しても良好な治療成績が報告されました。しかしながら、四肢の軟部肉腫に対する重粒子線治療の報告は少なく、その有用性はまだ十分検討されていません。そのため、当院で四肢の軟部肉腫に対して重粒子線治療を実施した患者さんの経過を解析して、治療の効果や安全性を評価することが本研究の目的です。
	研究対象者	2017 年 1 月から 2020 年 1 月までに当院で重粒子線治療を開始した四肢の軟部肉腫の患者さんを対象とします。
	研究期間	西暦 2022 年 5 月 16 日 ~ 西暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (放射線治療計画デー <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 タ)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	高草木 陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等 共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	放射線治療科 とくに共同研究機関はありません。
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 放射線治療科 高草木陽介	

以上